

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第51週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が57例あった。前週までの届出は611例であり、届出総数は668例となった。

全数報告の感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：つつが虫病 8 例。5 類感染症：梅毒 3 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
4類	つつが虫病	宮崎市	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		都城	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		日南	90歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		小林	40歳代	女	—	頭痛、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、倦怠感、起床時の四肢痛
			50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能障害
高鍋	50歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹		
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、丘疹性梅毒疹
			30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	30歳代	男	無症状病原体保有者	—

指定感染症 (51 週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群									症状
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	37例	3	6	9	8	5	1	2	2	1	発熱、咳、倦怠感、咽頭痛、頭痛、嗅覚・味覚障害等
	都城	16例		4	4	1	4	3				
	高鍋	1例					1					
	中央	3例		1				1	1			

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 338 人(定点当たり 9.8)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

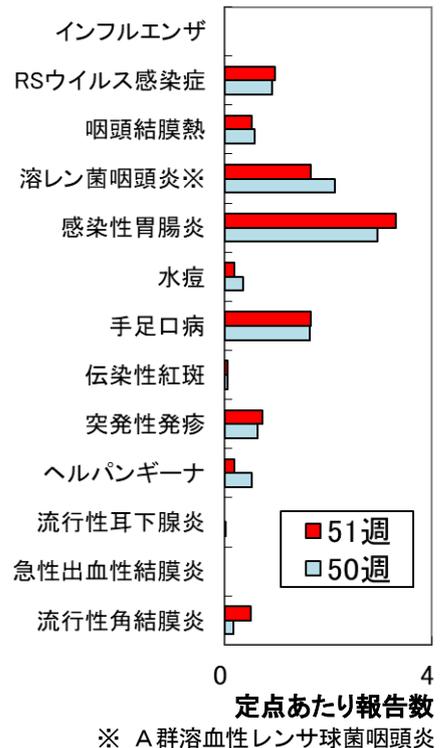
報告数は 119 人(3.3)で、前週比 112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(14.0)の約 0.2 倍であった。日南(6.3)、都城(5.3)、高千穂、日向(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1~2 歳が全体の約 4 割を占めた。

【手足口病】

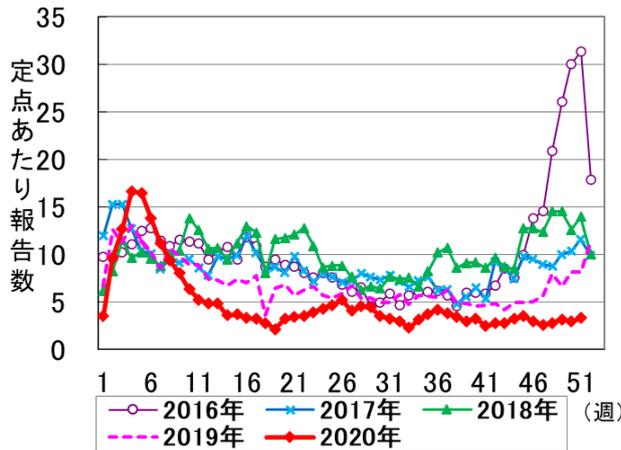
報告数は60人(1.7)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(0.7)の約2.3倍であった。日南(7.0)、中央(5.0)、高鍋(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

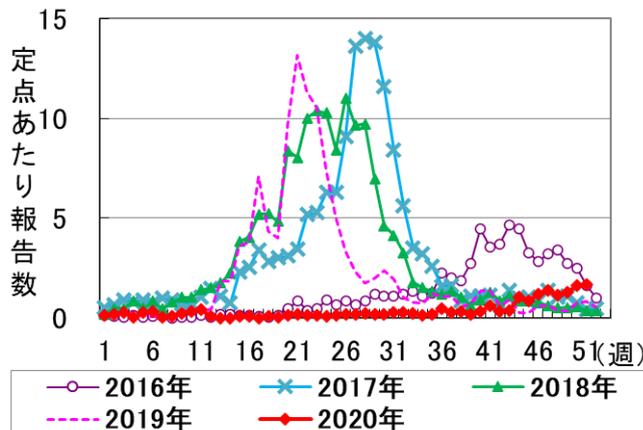
《前週との比較》



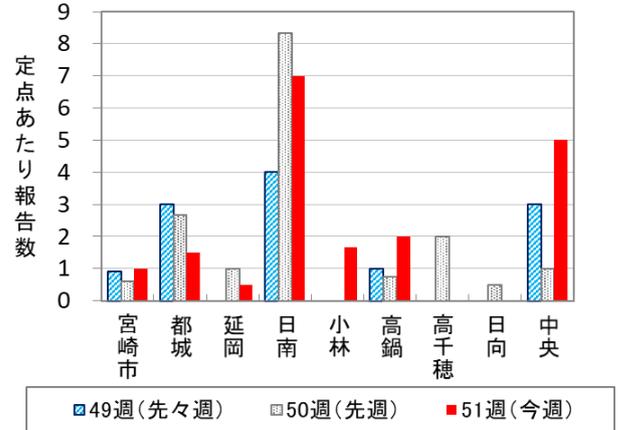
感染性胃腸炎 発生状況



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(7.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

流行警報レベル開始基準値
・手足口病(5)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年12月21日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O18:HUT)	10歳代	男	2020.11.18	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.12.1
EPEC(OUT:HUT)	20歳代	女	2020.11.24	発熱(37.0℃)、胃腸炎(腹痛)	便	2020.12.3
EPEC(OUT:HUT)	0~4歳	男	2020.11.27	発熱(39.3℃)、熱性けいれん、胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.12.9

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2020 年第 50 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 50 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	250 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	30 例				
4類感染症	E 型肝炎	7 例	エキノコックス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	57 例	日本紅斑熱	1 例	レジオネラ症	21 例
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例	急性脳炎	3 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	20 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	64 例	百日咳	12 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,516 人(0.8)で前週比 101%とほぼ同程度であった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.1)の約 0.3 倍であった。福岡県、鳥取県(2.4)、宮崎県(2.1)からの報告が多く、年齢群別では3歳から6歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,895 人(2.8)で前週比 117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約 0.3 倍であった。熊本県(9.7)、福岡県、佐賀県(9.0)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第51週(12月14日~12月20日)

疾病名	第50週	第51週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00 0.00									
RSウイルス 感染症	報告数 定点当り	33 0.92	35 0.97	1 0.10	32 5.33	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	2 0.50	0.00 0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	21 0.58	19 0.53	4 0.40	2 0.33	7 1.75	0.00 0.00	1 0.33	4 1.00	0.00 0.00	1 0.25
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	77 2.14	60 1.67	22 2.20	7 1.17	10 2.50	16 5.33	5 0.00	0.00 1.25	0.00 0.00	0.00 0.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	106 2.94	119 3.31	25 2.50	32 5.33	6 1.50	19 6.33	9 3.00	5 1.25	4 4.00	16 4.00
水痘	報告数 定点当り	13 0.36	7 0.19	0.00 0.00	1 0.17	0.00 0.00	2 0.67	1 0.33	3 0.75	0.00 0.00	0.00 0.00
手足口病	報告数 定点当り	59 1.64	60 1.67	10 1.00	9 1.50	2 0.50	21 7.00	5 1.67	8 2.00	0.00 0.00	5 5.00
伝染性紅斑	報告数 定点当り	2 0.06	2 0.06	0.00 0.00	1 0.17	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	1 0.25
突発性発しん	報告数 定点当り	23 0.64	26 0.72	8 0.80	4 0.67	6 1.50	4 1.33	2 0.67	1 0.25	0.00 0.00	1 1.00
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	19 0.53	7 0.19	2 0.20	0.00 0.00	2 0.50	1 0.33	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	2 2.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	1 0.03	0.00 0.00								
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00									
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	1 0.17	3 0.50	3 1.00	0.00 0.00						
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00									
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00									
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00									
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00									
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00 0.00									

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週~51週)

2類感染症	結核	151例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	7例
	つつが虫病	49例(8)	日本紅斑熱	13例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	水痘(入院例)	9例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	668例(57)	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
			梅毒	36例(3)
			百日咳	37例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例
			播種性クリプトコックス症	2例

()内は今週届出分、再掲